

(別紙)

「平成25年度 福岡県森林林業技術センター成果発表会」次第

日時 平成25年12月18日(水) 13:30~

場所 吉塚合同庁舎 8階 801会議室

I 開会、あいさつ(13:30)

II 口頭発表①(13:40~14:20)

- 高齢級林分に対応した林分収穫予想表の作成 (育林課 榎崎 康二)
スギ、ヒノキ林において、材価の低迷等により主伐が控えられ高齢級林分が増加する中、高齢級林分に対応した材積表の作成を図るとともに、実用性の高い林分収穫予想表を作成したので報告する。
- 細胞培養環境で再現したおしゃべりする樹木 (九州大学 森林生物化学分野 藤田 弘毅・神戸 良・堤 祐司)
自らが病原菌に感染した際に、新たに植物体内で生合成を行い防御物質(ファイトアレキシン)の生産のみならず、近隣の植物に対し、ストレス発生の知らせを行う Talking Tree の現象が樹木培養細胞でも観察されたので報告する。

III 休息・パネルセッション(14:20~15:00)

以下の分野に関連した近年の研究内容・成果等について、パネルにより展示、説明を行います。

- ・ 森林保護分野 マツノザイセンチュウの病原性 (森林環境課)
- ・ 木材利用分野 スギ杭の腐朽試験 (資源開発課)
- ・ 森林政策分野 2012年材価暴落の素材生産者への影響 (九州大学)
- ・ 森林政策分野 スギの一大並材産地における製材工場の経営動向とその変容 (九州大学)

IV 口頭発表②(15:00~15:30)

- 製材工場における品質の確保と流通体制の構築について (資源開発課 占部 達也)
県内製材工場が連携して、乾燥材の生産拡大と製材品の品質の確保を図るとともに、需用者ニーズに即した流通体制の構築に向けた取り組みについて報告する。

V 特別講演(15:30~16:10)

- 木造公共建築物等の事例紹介及び地域材の課題 (木構造システム(株) 営業課長(一級建築士) 佐藤 洋一)

VI 総合討議(16:10~16:30)

VII 閉会(16:30)